

令和五年度 奈良県租税教育推進連絡協議会長賞

税に対する自分としての意見

十津川高等学校 二年 加藤 陸斗

税について作文を書きなさい、と言われた時にまず浮かぶ身近な税は消費税だ。買い物のときに10%上乘せて、あたり前の様に払っている。1989年消費税法が導入されたの名は付加価値税と言われている。財貨やサービスの取引に生じる付加価値に着目して課税するしくみであり、今は10%にまで上がっています。例えるなら百万円分の買い物をすると十万円分税金を払うことになるのです。以前は3%から8%、そして10%と税は上がってきています。それから地方税という税もあります。これは名前通り地方の消費税で、消防や警察などの活動をそこに在住の人で納めるといなくてはならないものです。2021年のデータでは、約42兆円となっています。日本という国には色んなしくみがあたり前のようになっていますが、清潔に安全に暮らせているのは税があるからなくてはならないしくみだと、私は思います。消防車や救急車、上下水やダム、道路の整備、信号の管理、買うのにも何かと修理することにも税金はかかります。そして大人(20才)を超えると酒やタバコをこう入できたりしますが酒やタバコにも、酒税、タバコ税があり、これはどうやら毎年どんどん上がってきてるみたいです。SNSから引用して見てみると好きな人はタバコや酒をやめないと払い続けけることになるみたいです。それから輸入品にかかる関税というものもあり、即、貨物の輸入者が納めることとなっており、外国の物を取りよせて買うときは税金がかかっています。あとは自動車に乗る人には自動車税、家を買った人に固定資産税など、住む、生きる、暮らすだけで身の周りで税金がかかってくる。そして働いて納めなければならない所得税があり、これは日本国憲法第30条、「国民は法律の定めるところにより納税の義務を負ふ」にあります。これから色々な税金が上がり支払っていかなくてはなりません。税金をよりよく使い、むだにしないように決めていく政治家達にまちがえないように人を選ぶことも、我々の責任になってくるでしょう。日本のような平和で清潔で安全な国はこれからもキチンとした考えや思いをしっかりと持って未来につなげなければいけないと思いました。